

令和 3 年度 事 業 報 告

1 はじめに

我が国の景気は、コロナ禍で急激に落ち込んだ経済もようやく回復基調に転じましたが依然力強さを欠き、業種や規模により回復度合いが異なる「k字型回復」が続いています。国民全体を覆う閉塞感を真に打開するためにも、昨年政府が決定した「新たな経済対策」の着実な実行はもとより、国民が日本の将来について明るい希望を抱けるような、新たな成長と発展への道筋を明確にする必要があります。

さて、少子高齢化の進展により労働力不足が深刻になっている今日、国においては年齢に関わりなく地域で働ける職場づくりや、社会を支える「生涯現役社会」の実現を目指し、高齢者の雇用対策の実現に向けての取り組みが進められています。また、生産年齢人口が減少する中で、経済安定成長を維持していくために「ニッポン一億総活躍プラン」において、高齢者の就業率を上げていくことが位置付けられていることから、多様な就業機会を提供するシルバーセンター存在意義と期待は増々大きく、果たす役割も重要だと思えます。このような中、少子高齢化社会にあつて、会員が生き生きと健康で元気に暮らしていただくために、また、豊富な知識・技能・経験を活かし、仲間と一緒に就業できる喜びと生きがいの充実や社会参加の促進、さらに福祉の増進に資する事業を継続して参りました。来年度も今年度事業の指標に基づき進めて参ります。また、世界中に蔓延しております新型コロナウイルス感染症ですが、国内での感染者数は昨年11月以降は激減しトンネルの出口が見え隠れし、光明がさしかかったかなと思う矢先に、変異株オミクロンが発症し国内でも2月の頭には一日の感染者数が10万6千人と極端な増加に転じました。未だ収束に至らず、今日、オミクロン派生型ステレスオモクロンBA2が発症し感染力の強い変異株と報じています。

このような経済見通しの中、益田市シルバー人材センターの令和3年度の事業活動は、厳しい結果で終わりました。他方で、こうした厳しい状態の下で、地域の困りごとを新たな就業機会と捉えながら、事業展開に取り組みました。その中で、一昨年からのコロナ禍における新たな取り組みとして、マスク不足が深刻化する中、手作りマスクを製作し、当センターのアンテナショップ（サロン）に於いて、低廉な価格で販売を実施いたしました結果、独自事業の底上げとなりました。市民の皆様方から大変な好評をいただき、会員同士のモチベーションアップに繋がり功を奏したところです。

次に、「会員拡大」に於いては、目標567名に対して380名でした。目標対比67.0%でした。目標に対し会員数は大幅に乖離しました。最低で

も前年度を指標に掲げ機会あるごとに、お願いを致しましたが前年度にも届きませんでした。会員への訴え（浸透）が不十分であったかと思えます。既会員の年齢も高齢になり退会者も増加しました。又契約高に於いては、目標 1 億 8 1 0 0 万円に対し 1 億 3, 1 3 7 万円の実績でした。目標対比 7 2. 6 % でした。コロナの影響も少なからずあり発注のキャンセルや会員の雇止め、休業、気候変動等も重なり事業実績も減少し目標と大幅に乖離しました。

次に、安全適正就業ですが、残念ながら前年度より多くの事故を惹起いたしました。事故の内訳は、傷害事故 5 件、物損事故 11 件でした。職員の業務担務が兼務により、安全パトロールによる現場指導巡回の回数がかかり減少したことが少なからず要因によるものかと思われます。これら事故の原因について、検証、分析により何が足りなかったのか見出し対策を講じなければなりません。適正就業に於いては、グレー就業を排除しコンプライアンスを遵守します。

2 対前年度との比較

(1) 会員数 (人)

(令和 4 年 3 月末)

	男 性	女 性	合 計	対前年度比%
令和 3 年度	2 2 5	1 5 5	3 8 0	・・・
令和 2 年度	2 3 1	1 7 1	4 0 2	・・・
増 減	Δ 6	Δ 1 6	Δ 2 2	9 4.5

(2) 請負・委任

(令和 4 年 3 月末)

	件 数	金 額 (千円)	対前年度比%	延人員 (人)
令和 3 年度	3, 4 0 1	1 0 0, 4 4 6	・・・	1 6, 6 9 5
令和 2 年度	3, 7 2 4	1 0 9, 7 3 5	・・・	1 8, 0 5 7
増 減	Δ 3 2 3	Δ 9, 2 8 9	9 1.5	Δ 1, 3 6 2

(3) 派 遣

(令和 4 年 3 月末)

	件 数	金 額 (千円)	対前年度比%	延人員 (人)
令和 3 年度	1 0 6	3 0, 9 3 2	・・・	7, 9 9 6
令和 2 年度	1 0 7	3 2, 1 0 0	・・・	8, 3 5 8
増 減	Δ 1	Δ 1, 1 6 8	9 6.4	Δ 3 6 2

(4) 総計 (請負・委任・派遣)

(令和 4年 3月末)

	件数	金額 (千円)	対前年度比%	延人員 (人)
令和 3 年度	3,534	131,378	・・・	24,691
令和 2 年度	3,831	141,835	・・・	26,415
増減	△297	△10,457	92.6	△1,724

3 会員の増強と組織・財政の充実強化

(1) 会員の増強

前述の表のとおり、対前年度比較では会員数は大幅に減少いたしました。新規入会者数は27人に達していますが予想をはるかに下回ったことも挙げられます。今年度の退会者49人と入会者より退会者が上回りました。既会員の年齢が高齢化にともない体力の低下等により退会者の歯止めとして抑制をしましたが結びつきませんでした。今後は抑制の効果的な条件を考案することが求められます。シルバー人材センターの活動は、会員で成り立っておりますので、会員拡大に会員からの口伝え等「友達作戦」「広報誌やマスコミ」等果敢な活動によって、更に、新入会員獲得に全力的で取組む決意です。

(2) 組織・財政の充実強化

組織としては、すでに確立されてきていますが機能が少し働かなかったように思います。今後はどのような形にすると機能或いは活動が活発になるかが、今後の課題であると感じています。今後は、他センターとの情報の共有化を図り享受して参ります。財政的に非常に苦しい運営を強いられる中で、経費節減等掲げながら懸命に努力いたしました。来年度も、財政的に非常に厳しい運営を強いられると思われます。取り組みとして自前財源の確立に向け、「就業機会の拡大」と「会員の拡大」の両輪をもって推進して参ります。特に技能を要する剪定・大工・左官・襖、障子張替の就業会員が減少する中、後継者育成等の観点から講習会、研修会を実施し会員の技能・技術の向上と習得に努め、発注者のニーズに迅速に対応すると共にリピーター（顧客の呼び戻）に重点を置くことが肝要です。

(3) 地域班・職群班の充実

地域班は年2回以上の班会議を開催しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症により、殆どの班は中止を余儀なくされました。今年度は、資料のみの伝達等にいたしました。来年度は新型コロナウイルス感染症が収束に向かえばと期待しております。併せて例年通りの各地域で地域班会議が開催で

きることを願っています。課題として今後どのようにすると出席率が高まるか、地区委員、会員からの意見を拝聴し推進して参ります。これからの就業は主に福祉サービス部門の就業が増加すると予想されますことから、女性会員の拡大を中心に、地域の中にながら浸透させていけるか方策を考えながら取り組みます。

(4) 財政の健全化

令和3年度に於いても、中期事業計画に基づき効率的な財政運営に努め、積極的に就業拡大を図る一方、市当局に対し財政支援及び委託事業の更なる拡大について二回要望するなど財政基盤の安定化に努めました。令和3年度の決算状況について、週1回の職員会議を通じて意思疎通を図り収支相称に努めて参りました。85万円のマイナス計上となりました。センターの運営は、国と益田市からの補助金、事務費収入及び年会費が財源となっており、効率的な事業運営に引き続き取り組みます。職員のスキルアップ及び規程の整備等に取り組んでまいりました。事業費について、請負・委任、派遣事業及び独自事業等それぞれ新型コロナウイルス感染症により、大幅に落ち込み苦しい財政運営を余儀なくされておりますが、事務局体制の効率化を含め、理事会等で十分な協議を重ね、財政運営上収支相称に向けて更に取り組まなければいけないと思います。また、継続的な雇用は財政的な大きな影響を及ぼすものと思いますので、公共からの事業は財政基盤を構築するものと思います。発注は年々微増しておりますが、更に増強に努めなければなりませんので行政等へ強力的に要望し公共からの事業の拡大と併せて契約金額の向上にこれからも努めます。

(5) 研修等の取組

今年度に於いては、新型コロナウイルス感染症により各種総会、中国ブロック研修・セミナー等大幅に縮小又は中止となりました。然しながら、当センター主催の後継者育成を基軸として、刈り払い機取扱講習を実施しました。発注者のニーズと事故防止の観点から会員の資質を高めることが求められるので、来年度も各種講習を実施いたします。今後も島根県シルバー人材センター連合会の協力をいただきながら充実を図らなければなりません。

(6) 啓発事業の推進

昨年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスク不足で大変でした。その中で手芸サークルを主体に手作りマスクを低廉な価格によりアンテナショップ(サロン)で販売をいたしました。大好評で一時は製造が間に合わない状況でした。広報誌等に取り上げていただきましたので普及啓発に繋がりました。次は、普及啓発促進月間として、

三密避けながら会員、役職員による風光明媚な持石海岸清掃を実施しました。2年ぶりに萩・石見空港マラソン大会が開催されましたので大会前日に綺麗な走路にと実施いたしました。関係機関等から称賛いただきました。また各地域班（20班）に於いて感染防止対策を取りながら、それぞれの地域に沿ったボランティア活動を実施した結果、各新聞に掲載され、ケーブルテレビジョン等で放映もありました。又年間を通じて会報・機関紙等をはじめチラシの配布物を活用し、市民から「信頼・共感」・「親しまれ」・「愛される」シルバー人材センターを目指して参りました。これらをふまえ、来年度も引き続き啓発活動に努めます。毎年市民から期待されております会員作品展は、新型コロナウイルス感染防止に十分な対策を講じ二年ぶりの開催となりました。会員の喜びも一入大きいものでした。

4 就業機会の開拓

（1）就業機会の開拓

就業機会の拡大と会員拡大はシルバー人材センターの根幹であるため担当理事が中心となって、チラシ等を街頭において配布、サロンやハローワークへの載置、会員拡大を主眼とした各種団体や退職者及び雇用延長終了者へ入会促進のため事業所訪問に努めました。就業開拓に今まで以上の開拓を求めるとしたら知識・技能・経験をもった会員の育成が必要になります。したがって今年度は、知識・技能を高めるために講習会を実施しました。来年度も引き続き各種講習会を計画いたします。また、昨年と同時期に依頼のあった事業を検証し、今年、依頼がなかった場合にはリピーターへご依頼するなど積極的・果敢な取り組みをこれからも続けます。

（2）独自事業の開拓

厳しい財政運営のなかで請負・委任及び派遣事業、独自事業の就業は、今年度も、新型コロナウイルス感染症により大幅に実績が減少しました。独自事業は、駅前サロンに於いて、コロナ禍により、度々一時営業を余儀なく閉店しました結果、来客数8,900人対前比89.0%・販売実績249万8千円対前年比64.7%でした。然し乍、マスクの販売は昨年度同様好調でした。会員がいろいろなデザインを考案し、素材を選びお客様にフィットしたマスクをお求めいただく等工夫を凝らし素晴らしく好感のもてるマスクが出来上がり、独自事業実績の底上げに繋がりました、今後は更に独自事業の開拓も必然的に重要になってきます。当センターは、立地条件の良いシルバー駅前サロンを中心地で運営しております。従って駅前サロンで新鮮な野菜販売等しておりますが、今後は、斬新な物品を

販売したく暗中模索をしております。そこで、伐採などで不要になった木材を再利用し、マキの製造、木炭の販売を手掛けました。来年度は、植栽して出来上がった野菜・花の販売等検討中であります。

(3) 安全・適正就業の推進

ア 安全就業は申すまでもなく「安全は全てに優先する」合言葉のとおり最重要課題であります。その中で今年度は、会員一人一人が「自分の身は自分で守る」と自問自答繰り返しながら取組ましたが、残念なことに傷害事故5件・物損事故が11件発生いたしました。殆どが、草刈による物損事故でした。これらを鑑み 謙虚に且つ緻密に「事故の検証」「原因究明」を行い就業にあたっては、確実に「反復反省」を実行し教訓として生かして参ります。来年度も引き続き「事故ゼロ」目指し、就業前に「安全就業対策基本計画」及び「安全就業必携ハンドブック」等熟読を重ねて事故防止に取り組めます。このことが、延いてはシルバー人材センターの「信用・信頼」に繋がるものと確信いたします。

イ 適正就業は、「公益社団法人」の冠を拝したときから最低限守らなければならない職務として、コンプライアンスを遵守し偽装請負を排除し適正就業に努めます。

(4) 相談、情報提供

入会を希望する高齢者を対象に、毎月2回以上のお仕事説明会を実施し、それ以外に於いても即入会希望者へは、随時お仕事説明会実施し入会の促進に努めましたが、残念ながら会員増に繋がらなかった。来年度に於いても継続的な取り組みと、新たな取組として市内一円20カ所ある公民館を利用させて頂き、お仕事説明会を実施する計画です。又高齢者からの相談の窓口を設け、広報活動等による情報の提供を行い併せて啓蒙活動に努めました。

5 事業の趣旨

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供を行う。
- (2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供を行う。
- (3) 知識及び技能を付与するための講習を行う。
- (4) 上記の事業を推進するための諸活動、及びその他の社会参加活動を推進するための活動を行う。